

2024年JAF地方ジムカーナ/ダートトライアル/サーキットトライアル選手権 クラス区分等について

2024年日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権規定および2024年日本サーキットトライアル選手権規定に基づき、2024年JAF地方ジムカーナ/ダートトライアル/サーキットトライアル選手権クラス区分等について、以下のとおりお知らせします。

1 地方ジムカーナ選手権

1) 北海道ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

参加車両	クラス	参加車両
PN、P、AE 車両	H-PN1	気筒容積を制限しない前輪駆動(FF)および後輪駆動(FR)の AT 車両を含む FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が2007年1月1日以降の PN 車両及び全ての P、AE 車両※1
	H-PN2	気筒容積および駆動方式を制限しない H-PN1 以外 AT 車両を含む FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が2007年1月1日以降の PN 車両※1
N、SA、SAX、 B、SC 車両	H-BC1	2輪駆動の AT 車を含む N・SA・B・SAX・SC 車両※2
	H-BC2	4輪駆動の AT 車を含む N・SA・B・SAX・SC 車両※2

タイヤ規定：

※1の記号があるクラスは当該年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則に準ずる。

※2の記号があるクラスは当該年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則に準ずる。

2) 東北ジムカーナ選手権：

【部門】(N・SA部門)(PN部門)(B・SA・SAX・SC部門)

【クラス区分】

クラス	参加車両
SATW-2 クラス	UTQG の TREAD WEAR が280以上のタイヤを使用する2輪駆動の SA 車両※1
SATW-4 クラス	UTQG の TREAD WEAR が280以上のタイヤを使用する4輪駆動の SA 車両※1
SATW-AT クラス	UTQG の TREAD WEAR が280以上のタイヤを使用する自動変速機付きの SA 車両 ※1
PN1 クラス	気筒容積1600cc未満で前輪駆動の PN 車両※2※3
PN2 クラス	気筒容積1500cc未満で後輪駆動の PN 車両※2※3
PN3 クラス	気筒容積1500cc以上で2輪駆動の PN 車両※2※3
PN4 クラス	PN1・PN2・PN3 クラスに該当しない PN 車両※2※3
BSC-2 クラス	排気量制限なしの2輪駆動の B・SA・SAX・SC 車両
BSC-4 クラス	排気量制限なしの4輪駆動の B・SA・SAX・SC 車両

※1の記号のあるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。

UTQGのTREAD WEARが280以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤ。

※2の記号のあるクラスは、2024年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用し、UTQGのTREAD WEAR 200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤも適用とする。

※3の記号のあるクラスは、FIA/JAF 発行年または JAF 登録年が2007年1月1日以降の車両。

3) 関東ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	車両	気筒容積・駆動方式等
PN/AE1	スピード P/PN/AE 車両	電気式駐車ブレーキが装着された車両※1
PN/AE2		自動変速機付きの前輪駆動車※1
PN/AE3		自動変速機付きの後輪駆動車※1
PN1	スピードPN 車両	気筒容積1500cc未満で前輪駆動の車両。(FIA/JAF 公認発行年またはJAF 登録年が2018年1月1日以降の車両) ※1
PN2		気筒容積1500cc未満で後輪駆動の車両。(FIA/JAF 公認発行年またはJAF 登録年が2007年1月1日以降の車両) ※1
PN3		気筒容積1500cc以上で2輪駆動 (FF・FR) の車両。(FIA/JAF 公認発行年またはJAF 登録年が2007年1月1日以降の車両) ※1
PN4		PN1クラス、PN2クラス、PN3クラスに該当しない車両。(FIA/JAF 公認発行年またはJAF 登録年が2007年1月1日以降の車両) ※1
PN5		気筒容積2000cc以下の2輪駆動 (FF・FR) 車※2
PN6		気筒容積2000ccを超える2輪駆動 (FF・FR) 車※2
PN7		気筒容積区分無し of 4輪駆動車※2
B・SC1	スピード B/SC 車両	気筒容積区分無し of 前輪駆動車※1
B・SC2		気筒容積区分無し of 後輪駆動車※1
B・SC3		気筒容積区分無し of 4輪駆動車※1
D	スピード D/B/SC 車両	気筒容積、駆動方式制限無し (区分無し) ※3

※1の記号があるクラスは以下の①または②に適合し、尚且つ③に適合すること。(参加者がカタログ等で証明する事。)

①2024年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)に適合するタイヤ。

②2020年12月31日以降で、1銘柄で単一コンパウンドかつ国内販売が30サイズ以上のラインナップを有すること、またはUTQGのTREAD WEARが200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤ。

(複数のTREAD WEARがあるタイヤは同一パターンでも違うコンパウンドと解釈します。)

③タイヤの溝深さはトレッドウエアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。

※2の記号があるクラスは、UTQGのTREAD WEARが280以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤのみ使用可。

※3の記号があるクラスは、スリックタイヤ使用禁止。

4) 中部ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
AT	オートマチック限定免許で運転できる P・PN・AE 車両※2
PN1	気筒容積1500cc未満の前輪駆動のPN車両 (FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が2018年1月1日以降の車両) ※2
PN2	気筒容積1600cc以下の2輪駆動 (FF・FR) のPN車両※2
PN3	気筒容積1600ccを超える2輪駆動 (FF・FR) のPN車両※2
PN4	気筒容積1600ccを超え2000cc以下の2輪駆動 (FR) のPN車両の内、 FIA/JAF 公認発効年または JAF 登録年が2012年1月1日以降の車両※2
PN5	PN1～PN4 に該当しないPN車両※2
SA1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のSA・SAX車両※1
SA2	気筒容積1600ccを超える前輪駆動のSA・SAX車両※1
SA3	気筒容積1600ccを超える後輪駆動のSA・SAX車両※1/※3
SA4	4輪駆動のSA・SAX車両※1/※3
B・SC1	2輪駆動のB・SC車両※1
B・SC2	4輪駆動のB・SC車両※1
D	クラス区分なしのD車両

※1の記号のあるクラスは、当該年全日本ジムカーナ選手権統一規則第2章第2条 参加車両を適用する。
(タイヤ規制等)

※2の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤメーカー	ブランド	使用が禁止されるタイヤ
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G/03G/β02/β03/β04/β05/β10
(株)ブリヂストン	POTENZA	55S/11S/05D/06D/07D/08D/09D/12D
TOYO TIRE(株)	PROXES	888/888R/RR
横浜ゴム(株)	ADVAN	048/050/08B
Hankook Tire Co. Ltd	Ventus	Z214/TD
Kumho Tire Co. Ltd	Ecsta	V710/V700/V70A
GOOD YEAR	EAGLE RS-Sport	V-SPEC/R2-SPEC/R3-SPEC/R4-SPEC
製造者問わず	競技用タイヤ・セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ ※競技用タイヤ＝レース・ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ用タイヤ 86/BRZ Race 用タイヤを含む	

※3の記号のあるクラスに参加するSA・SAX車両のタイヤサイズは競技会開催場所内に限り自由とし、当該年のJAF国内競技車両規則第3編第5章スピードSA車両規定第8条8.1.1)④～⑩を除き、当該条項の適用を免除する。ならびに、8.2.1)①の適用を免除する。

※本規定に疑義が生じた場合、JMRC中部ジムカーナ部会の決定を最終とする。

5) 近畿ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
BR1 クラス	気筒容積1582cc以下のB車両※1
BR2 クラス	前輪駆動のB車両※1
BR3 クラス	後輪駆動のB車両※1
BR4 クラス	4輪駆動のB車両※1
2PD クラス	オートマチック限定免許でも運転できる2ペダルのP・PN・AE・B車両※1
PN1 クラス	気筒容積1600cc以下の2輪駆動 (FF・FR) のPN車両※1
PN2 クラス	気筒容積1600ccを超える2輪駆動 (FF・FR) のPN車両※1
PN3 クラス	気筒容積1600ccを超え2000cc以下の2輪駆動 (FR) のPN車両のうち、FIA/JAF 公認発効年またはJAF 登録年が2012年1月1日以降の車両※1
PN4 クラス	PN1、PN2 およびPN3 クラスに該当しないPN車両※1
L クラス	B・SC車両 (女性運転者に限る)
SBK クラス	気筒容積1582cc以下のB・SC車両
BC1 クラス	前輪駆動のB・SC車両
BC2 クラス	後輪駆動のB・SC車両
BC3 クラス	4輪駆動のB・SC車両

- ・同一車両による重複参加 (ダブルエントリー) は2名まで認められる。
重複参加の後走に許可される作業は同一クラスに限る。他クラスとの重複参加はこの限りではない。
- ・使用可能タイヤは基本的に、当該年度の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2条2) (2-1以外) 規定に準ずる。
- ・(※1) を記載している BR 各クラスと 2PD クラス・PN 各クラスは下表に記載するタイヤの使用を禁止する。

タイヤメーカー	ブランド	使用が禁止されるタイヤ
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	MOTOR SPORT(ON ROAD・DIRT&RALLY・RACING・VINTAGE)タイヤおよび SPORT タイヤ銘柄のうち、β02、β10
(株)ブリヂストン	POTENZA	POTENZA RE-に続き、数字と特定の記号(S、D)の組合せで製品名が構成されているタイヤ(例:RE-11S・12D)
TOYO TIRE(株)	PROXES	製品名に R888 を含むタイヤ(例:R888・R888DRIFT)
横浜ゴム(株)	ADVAN	A048/A050/A08B
NANKANG RUBBER TIRE	Sportnex	CR-S ※TW=200標記ですがSタイヤ相当以上のグリップと判断
上記以外のメーカー (海外含む)		ラリータイヤ、レース専用タイヤ、セミレーシング(通称S)タイヤ、縦溝のみのタイヤ、86/BRZ レース等対応のカタログ上で1サイズのみタイヤ(β05・β06・09D等)は基本使用不可。 ただし、タイヤサイドに UTQG(TREAD WEAR)200以上の数字の記載があり、競技当日の車検で確認出来れば使用可とする。 上記に当てはまらない新製品・明らかに標記よりグリップ・摩耗が激しいタイヤに関しては判断基準に従いシーズン途中であっても猶予期間を待たずに使用を禁止する場合がある。 ※補足:海外メーカー含め新作タイヤは続々と出てきますので、全ての銘柄を記載できないので上記判断となります。

補足：

近畿シリーズで(※1)に該当する タイヤで使用可能な主なタイヤ	DL: β11、Z3 BS:RE71RS、RE004 YH:A052、AD08&09 TOYO:R1R シバタイヤ:(※TW200以上)等
------------------------------------	---

6) 中国ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス名称	クラス区分	タイヤ
T28 クラス	UTQG 表示のトレッドウェア 280以上のタイヤを装着した気筒容積区分なしのPN・AE・SA・B車両	
RC クラス	軽自動車のPN・AE・B車両および気筒容積1500cc以下の2輪駆動(FF)のPN車両	★
R2 クラス	気筒容積区分なしの2輪駆動のPN・AE・SA・SAX・B・SC車両	
R4 クラス	気筒容積区分なしの4輪駆動のPN・AE・SA・SAX・B・SC車両	
PN2 クラス	気筒容積1500cc未満で2輪駆動(FF・FR)のPN車両 (前輪駆動はFIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2018年1月1日以降の車両、後輪駆動はFIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	☆
PN3 クラス	気筒容積1500cc以上で2輪駆動(FF・FR)のPN車両 (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	
BC2 クラス	気筒容積区分なしの2輪駆動(FF・FR)のB・SC車両	
BC3 クラス	気筒容積区分なしの4輪駆動のB・SC車両、およびPN2クラス、PN3クラスに該当しないPN車両(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	

★の記号があるクラスが交換して使用できるタイヤはJMRC中国公式Webサイトで指定されているタイヤでなければならない。ただし、指定タイヤは年度途中でも部会を経て適時変更される。指定タイヤを使用せず出走の場合、各ヒートのタイムに5秒が加算される。

☆の記号があるクラスは当該年の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用する。

7) 四国ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両	
BSC	1	・ 2 輪駆動の B・N・SC・AE 車両
	2	・ 4 輪駆動の B・N・SC・AE 車両 ・ クラス区分無しの D 車両
PN	1	・ 2 輪駆動の PN 車両
R	1	・ 気筒容積 1 1 5 0 c c 以下の後輪駆動の B 車両 ・ 気筒容積 1 5 0 0 c c 以下の前輪駆動および 4 輪駆動の B 車両
	2	・ 気筒容積 1 5 0 0 c c を超える前輪駆動の B 車両
	3	・ 気筒容積 1 1 5 0 c c を超える後輪駆動の B 車両
	4	・ 気筒容積 1 5 0 0 c c を超える 4 輪駆動の B 車両および 4 輪駆動の PN 車両

【各クラスのタイヤ制限】

- ・ BSC クラスについては、当該年の JAF 国内競技車両規則第 3 編スピード車両規定第 7 章スピード B 車両規定を適用する。
- ・ PN クラスについては、基本当該年の全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) を適用する。
- ・ R クラスについては、以下のタイヤ規制を適用する。
 - (1) 1・2・3 クラスは表 1 記載のタイヤを使用禁止とする。
 - (2) 4 クラスは、以下の通りとする。
 - ・ 表 1 のタイヤを使用禁止とする。
 - ・ PN 車両は、当該年の全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) を適用する。ただし、横浜タイヤ A052 は使用可能とする。
 - (3) 新たに販売が開始、またはモデルチェンジされた表 1 中の※ 1、※ 2 に該当しないタイヤは、基本的に使用可能とする。その性能確認により、猶予期間なしに使用不可と判断する場合がある。
 - (4) 新たに使用不可と判断したタイヤは J M R C 四国にて適時発表・告知する。

表 1	住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G・03G・β02・β03・β04・β05・β06・β10・94R・201R・301R
	(株)ブリヂストン	POTENZA	55S・11S・05D・06D・07D・08D・09D・12Dtype-A
	TOYO TIRE(株)	PROXES	881 ・888 ・888R
	横浜ゴム(株)	ADVAN	048 ・050 ・A08B SPEC-G
	日本グッドイヤー(株)	EAGLE/RS-SPORT	V-SPEC・R2-SPEC・R3-SPEC・R4-SPEC
	Hankook	Ventus	Z214・TD
	Kumho	Ecsta	V710・V70A・V700
	NANKANG	Sport nex	AR-1・NS-2R
	※1 海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイヤと判断される物、および縦溝のみのタイヤ。		
	※2 製造者問わず、セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ、ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ・レース専用タイヤ		

8) 九州ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

クラス名称	車両区分	JAF 登録年制限	車両区分	タイヤ区分 (制限)	代表車種
B1	軽自動車		B	*九州ラジアル限定	全ての軽自動車
B2	気筒容積 1586cc以下の 前輪駆動		B	*九州ラジアル限定	ZC31/32 スイフト・ デミオ・FIT・FF ヤリス
B3	気筒容積 1586ccを超える 2輪駆動		B	*九州ラジアル限定	シビック・インテグラ・ MR2・RX7・S2000・ NSX・エキシージ
PN1	気筒容積 1500cc以下の 後輪駆動		AE・ P・PN	2024年全日本PN タイヤ規定	ND ロードスター・S660
PN2	気筒容積 1500ccを超え 2000cc以下のFR (2シーター 除く)	2012年1月 1日以降	AE・ P・PN	2024年全日本PN タイヤ規定	旧86・旧BRZ
PN3	気筒容積 1500ccを超え 2輪駆動 (FR/FF)		AE・ P・PN	2024年全日本PN タイヤ規定	新旧86・新旧BRZ・ ロードスターRF・ 124 スパイダー・ 33 スイフト・Z34
PN4 +	PN1・PN2・ PN3に該当し ない車両		AE・ P・ PN・ SA	2024年全日本PN タイヤ規定	GR ヤリス・ランサー・ インプレッサ・ エキシージ
BC1	気筒容積区分 無しの2輪駆 動		B・ SC・ SAX	2024年全日本B・SC タイヤ規定	シビック・インテグラ・ MR2・RX7・S2000・ NSX・エキシージ
BC2	気筒容積区分 無しの4輪駆 動		B・ SC・ SAX	2024年全日本B・SC タイヤ規定	GR ヤリス・ランサー・ インプレッサ

※九州ラジアル制限規定 (使用禁止タイヤ)

海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイヤおよび縦溝のみのタイヤは使用不可とする。

ブリヂストン：520S/540S/55S/11S/11A2.0・4.0/05D/06D/07D/12D/12D-A

ダンロップ：93J/98J/01J/02G/03G/Z2β・α/β-10/β-03/β-04

ヨコハマ：021/032/038/039/048/A050/A08B

TOYO：FM9R/08R/881/888/R888/R888R

グッドイヤー：RSsport-86S/R2/R3/R4/VspecRS-sport/SspecRS-sport/RS-sportS-spec

ファルケン：アゼニス RT615K

ただし、これに準ずると判断されたタイヤは使用不可になる場合があります。

2 地方ダートトライアル選手権

1) 北海道ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
FF-1 クラス	気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SCおよび排気量区分なしの2輪駆動のAE車両 (※FF-1クラスに参加する車両の年式制限を行う(AE車両は除く)。その年式は、2000年(平成12年)10月以降に初年度登録された車両であること。)
FF-2/4WD-1 クラス	FF-1クラスに該当しない2輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両、および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両、および排気量区分なしの4輪駆動のAE車両
RWD クラス	排気量区分なしの後輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両
4WD-2 クラス	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両
D クラス	クラス区分なしのD車両

2) 東北ダートトライアル選手権：

【参加車両】P車両・PN車両・AE車両・N車両・SA車両・SAX車両・SC車両・B車両・D車両

【クラス区分】

クラス	参加車両
FR クラス	全ての後輪駆動 (FR) の車両
2WD-1 クラス	排気量1500cc以下の2輪駆動の車両
2WD-2 クラス	排気量1500ccを超える2輪駆動の車両
4WD-1 クラス	排気量2800cc以下の4輪駆動の車両
4WD-2 クラス	排気量2800ccを超える4輪駆動の車両

※排気量は過給機付の場合1.7を乗じた値とする。

3) 関東ダートトライアル選手権：

【競技車両】PN・N・AE・B・SA・SAX・SC・D とする。

【クラス区分】

クラス	参加車両
N1500 & PN1	気筒容積1,500cc以下の2輪駆動のN車両で排ガス規制平成12年規制以降の適合車両、および気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のPN車両とし、AE車両を含む。
N1 & PN2	2輪駆動のN車両および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のN車両とする。気筒容積1,600ccを超える2輪駆動で前輪駆動のPN車両とする。
PN3	気筒容積1,600ccを超える2輪駆動で後輪駆動のPN車両とする。
N2	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のN車両とする。
S1	2輪駆動のSA・SAX・SC・B車両とする。
S2	4輪駆動のSA・SAX・SC・B車両とする。
D	排気量および駆動方式による区分なしのD車両とする。

4) 中部ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
2P	クラッチペダルを有さないAE・PN・N・SA・SAX車両。ただしデファレンシャルの変更、改造および加工は許されない。
RWD	排気量によるクラス区分を行わず、後輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両
PN1・S1500	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両(車両規定はスーパー1500車両規定で運用する)、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両、全てのAE車両 ※1
PN2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動(FF)のPN車両
N	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のN車両
S1	排気量によるクラス区分を行わず、2輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
S2	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のSA・SAX・SC・D車両

※1の記号のあるクラスの内、B車両は以下の制限が加えられる。

- ・参加が許される車両は、気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンの車両および気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンを搭載したハイブリッド車両とする。
- ・駆動方式は、前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する2輪駆動車とする。
- ・当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とし、250万円以下の車両とする。
- ・最終減速比の変更は、同一車両型式に設定されている純正部品およびメーカーオプションで、改造および加工の必要なく取り付けられるものであれば、ボルトオンを条件に許される。
- ・フライホイールの変更は許されない。
- ・エアコンは装着されていなければならない、その機能を維持していること。
- ・自動車検査証の初度登録年月が平成12年1月以降の車両であること。

5) 近畿ダートトライアル選手権：

【参加車両】 AE車両・PN車両・N車両・SA車両・SAX車両・SC車両・D車両・B車両

【クラス区分】

クラス	参加車両
RWDクラス	排気量区分なしの後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両
AE・PNクラス	排気量区分なしの全てのAE車両および2輪駆動のPN車両
Nクラス	1600cc以下の4輪駆動のN車両
S1クラス	排気量区分なしの2輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
S2クラス	1600cc超の4輪駆動のN車両および排気量区分なしの4輪駆動のSA・SAX・SC車両
Dクラス	排気区分なしの全てのD車両

6) 中国ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス名称	クラス区分
AT	クラッチペダルを有しない2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両。 また、デファレンシャルギアの変更は禁止する。
PN1+	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両および気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両（ラリー車両規定のRPN車両に限定する）。
NPSA	2輪駆動のN車両、および気筒容量1500cc未満の2輪駆動で2005年式以降のAE・PN・N・SA・SAX車両（2輪駆動のラリー車両規定のRJ車両を含む）。
SA1	2輪駆動のSAおよびSAX車両。
RWD	排気量区分無し、後輪駆動のPN・N・SA・SAX・SC・D車両。
NS1	4輪駆動のN・SA・SAX車両。
SCD1	2輪駆動のSCおよびD車両。
SCD2	4輪駆動のSCおよびD車両。

7) 四国ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
PN+	2輪駆動のPN車両 2輪駆動で気筒容積1500cc以下のSA車両、SAX車両、ラリー車両（RJ車両を含む）
N	N車両
SD1	2輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両 気筒容積1600cc以下の4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両
SD2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両

8) 九州ダートトライアル選手権：

【クラス区分】

クラス	参加車両
AT1	2ペダルオートマ車両の2輪駆動車のAE・PN・N・SA・SAX・B車両
AT2	2ペダルオートマ車両の4輪駆動車のAE・PN・N・SA・SAX・B車両
PN1+	1586cc以下の2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両
N2	1600ccを超える4輪駆動のN車両
RWD	後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両
S1	1586ccを超える2輪駆動のSA・SAX車両および排気量区分無しの2輪駆動のB・SC車両
S2	4輪駆動のSA・SAX車両
C	排気量および駆動方式区分無しのSAX・B・SC車両
D	排気量および駆動方式区分無しのD車両

3. 地方サーキットトライアル選手権

1) 筑波サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーの5ナンバーサイズのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）
CT9	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR（EK9/EP3/FD2/FN2）、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、2024年全日本ジムカーナ/ダーツトライアル選手権統一規則第2条2）に示す基準を満たす、もしくはそれ相応の性能基準とオーガナイザーが判断した銘柄とする。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD09/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	β11/ZIII/DZ102
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/RS SPORT S-SPEC
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports2
日本ミシュランタイヤ	PILOT	SPORT 4S
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730/V720/V700
ナンカン	Sportsnex	CR-S/NS-25/NS-20
ハンコック	Ventus	RS4 Z232/V12 evo2 K120
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW200～)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1～6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。
- ②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上

2) 岡山国際サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	参加車両
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーの5ナンバーサイズのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）
CT9	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR（EK9/EP3/FD2/FN2）、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/NEOVAAD09R/Sport V105~107/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORTS/F1 ASYMMETRIC3~5/F1 SPORTS
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/TR1/Sports 2/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT3~5
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730/V720/V700
ナンカン	Sportsnex	NS-2R /NS-2
ハンコック	Ventus	V12 evo2/PRim3
フェデラル	595	RS-PRO
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW200~)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。
- ②CT7~9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定され

ている車両重量の最小値とする。

以上